

未婚者の過半数が 「異性との出会いがない」。

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区 代表取締役社長 兼 CEO: 峰岸真澄)が運営するブライダル総研では、20代~40代の未婚男女2478人に『異性との出会いの有無に関するアンケート』を実施しましたので、その結果をご報告いたします。

①「異性との出会いがない」と思う未婚者は、男女ともに過半数。

20代~40代の未婚の男女2,478人に、“異性との出会いがあるか”を聞いたところ、男性では「出会いがある」が16.6%、「出会いがない」が55.7%でした(「どちらとも言えない」は男性27.8%)。一方、女性は「出会いがある」が19.7%、「出会いがない」57.6%でした(「どちらとも言えない」は女性22.7%)。男女ともに過半数が「異性との出会いがない」と思っているようです。

②出会いがある人とないない人の違い。

◆「異性との出会いがある」人のほうが恋人がいる割合が高い。

“異性との出会いの有無”と“恋人の有無”の関係性を見てみました。
男女ともに「出会いがない」→「どちらとも言えない」→「出会いがある」の順番に「恋人がいる」人の割合が高くなっています。

◆恋人との出会いのきっかけ、「異性との出会いがない」と答えた人は「同じ会社や職場」、「異性との出会いがある」と答えた人では「趣味・習い事を通じて」が多い。

恋人が欲しい人から「出会いがない」という言葉を耳にすることも多いのではないのでしょうか。それでは「出会い」はどこにあるのでしょうか。
現在、恋人がいる人の恋人と出会ったきっかけを、“異性との出会いの有無”別にみてみました。

恋人がいる人のうち、異性との「出会いがない」と答えた人では、恋人との出会いのきっかけで「同じ会社や職場」だった人の割合が29.6%で最も高く、「出会いがある」人(20.8%)より8.8pt高くなっています。

また「出会いがある」と答えた人では「同じ会社や職場」だった人の割合が最も高いものの、「サークルや趣味・習い事の活動を通じて」「友人の紹介」がともに18.6%で2番めに高く、「出会いがなかった」人との差もそれぞれ8.4pt、4.5ptと多くなっています。

職場や身近なところに「異性との出会いがない」と思う人は、趣味の活動をしたり、習い事を始めてみるのもよさそうです。

◆出版・印刷物へデータを転載する際には、“リクルート ブライダル総研調べ”と明記いただけますようお願い申し上げます。

【リクルート ブライダル総研】

「ブライダル総研」は、株式会社リクルートのブライダルカンパニーに設置されている調査・研究組織です。結婚や結婚式に関する調査・研究、未来への提言を通じて、ブライダルマーケットの発展に貢献することを目的として活動しています。

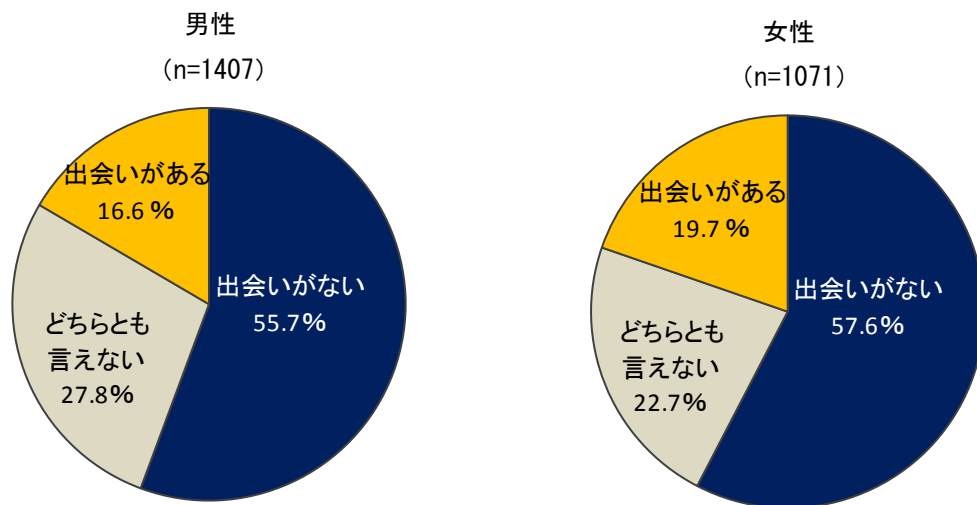
「ブライダル総研リサーチニュース」バックナンバー
ブライダルに関する豊富な調査データはこちらをご利用ください

<http://bridal-souken.net/>

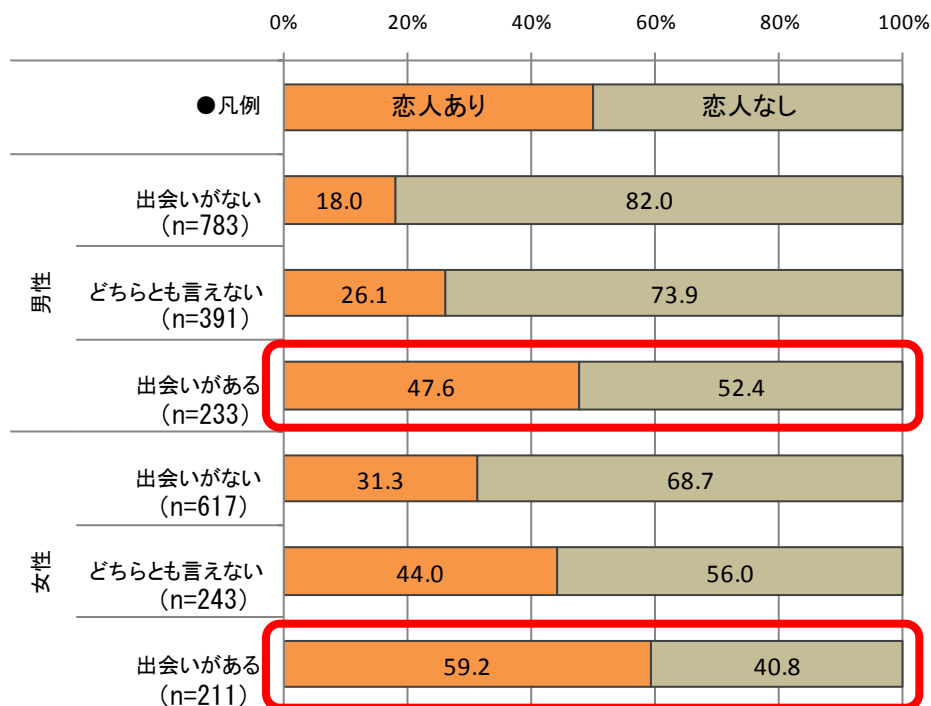
■異性との出会いの有無に関するアンケート

【参考データ】

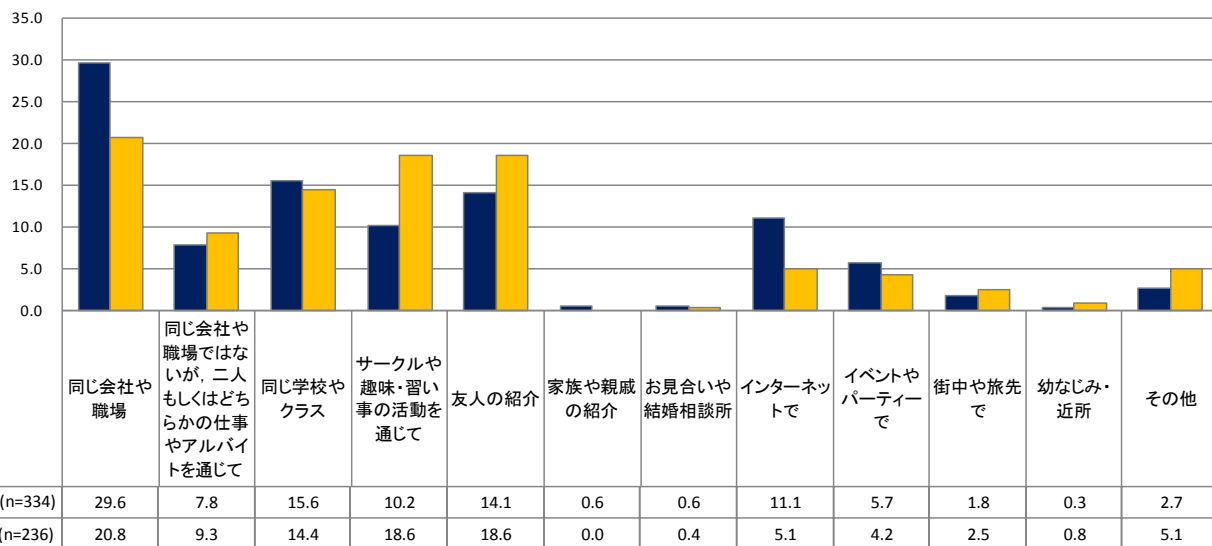
■異性との出会いの有無(未婚者/単一回答)



■異性との出会いの有無別恋人の有無(未婚者/単一回答)



■異性との出会いの有無別 恋人との出会いのきっかけ（恋人いる人／単一回答）



【調査概要】

【調査方法】 インターネット法

【調査期間】 2012年3月27日～3月29日

【調査対象】 首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）、東海（愛知・岐阜・三重）、関西（大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山）の男女。

【集計サンプル数】

計3096人

未婚者：男性1407人、女性1071人

既婚者：男性309人、女性309人